

## 平成14年度 年報

### 事業報告

#### 展覧会事業

##### ・常設展

#### 第1期 2002年3月30日(土)～6月23日(日)

前期:3月30日(土)～5月12日(日)

後期:5月14日(火)～6月23日(日)

展示室1 前期 新収蔵品を中心に

後期 屏風の美

展示室2 長岡現代美術館(大光コレクション)

展示室3 斎藤義重の世界

#### 第2期 2002年6月25日(火)～9月23日(月)

前期:6月25日(火)～8月18日(日)

後期:8月20日(火)～9月23日(月)

展示室1 横山操をめぐって

展示室2 ヨーロッパ憧憬

展示室3 パリの街角

#### 第3期 2002年9月28日(土)～12月23日(月)

前期:9月28日(土)～11月10日(日)

後期:11月12日(火)～12月23日(月)

展示室1 日本画名品選

展示室2 特集 宮芳平

展示室3 前期 新潟の木版画

後期 特集 ジャック・カロ

#### 第4期 2003年1月4日(土)～3月26日(水)

前期:1月4日(土)～2月9日(日)

後期:2月11日(火)～3月26日(水)

展示室1 日本画に見る墨と色彩

展示室2 特集 新潟の作家たち(戦前の作品から)

展示室3 メモリー—亀倉雄策—残された写真・記事を交えて—

#### ・所蔵品による

ひく楽しみ・かく歓び～素描の魅力～

2002年11月23日(土)～12月23日(月)

・企画展 (詳細はトップページの「今までの展覧会」を御覧下さい。)

長岡現代美術館賞回顧展1964—1968 時代を駆け抜けた美術館と若く熱き美術家たち

2002年4月20日(土)～6月9日(日)

ポンピドーセンター&シャガール家秘蔵作品 マルク・シャガール展

2002年7月20日(土)～9月23日(月・祝)

小山正太郎と「書ハ美術ナラス」の時代

明治新国家に燃える熱き理想 洋画 vs 日本画、そして「書」

2002年10月4日(金)～11月17日(日)

福島県立美術館コレクション展

2003年2月15日(土)～3月23日(日)

#### ・共催展

第57回新潟県美術展覧会長岡展(新潟県立近代美術館)

2002年6月13(木)～20日(木)

第33回新潟県ジュニア美術展覧会

長岡展 平成15年1月4日(土)～1月13日(月・祝)

#### 普及事業

・新潟県立近代美術館巡回ミュージアム

当館の収集活動の成果を披露するとともに、広く県民に美術鑑賞の機会を提供し、文化振興をはかるために所蔵作品より約 30 点の作品を選定し実施した。

- ・両津市郷土博物館 10月11日(金)～10月20日(日)
- ・中之口村先人館 11月1日(金)～11月10日(日)

## 講演会等のイベント

### <講演会等>

4月20日(土) 午後2時～

長岡現代美術館賞回顧展講演会

講師 高島 直之(美術評論家)

演題 「'60年代日本美術と長岡現代美術館」

4月28日(日) 午後2時～

長岡現代美術館賞回顧展講演会

講師 篠原有司男氏(出品作家)

演題 「ピラニアと格闘を続ける前衛画家たち」

7月27日(土) 午後2時～

マルク・シャガール展講演会

講師 深山克典氏(名古屋市美術館)

演題 「シャガールとロシア」

9月 7日(土) 午後2時～

マルク・シャガール展講演会

講師 瀬木慎一(美術評論家)

演題 「私の会ったシャガール」

10月13日(日) 午後2時～

小山正太郎と「書ハ美術ナラス」の時代講演会

講師 大熊敏之氏(宮内庁三の丸尚蔵館主任研究官)

演題 「明治期の美術とは何だったのか?—日本画・書・油画の居場所」

2月22日(土) 午後2時～

福島県立美術館コレクション展講演会

講師 早川博明(福島県立美術館学芸課長)

演題「福島県立美術館とアンドリュー・ワイエスの作品について」

### <ワークショップ>

5月 4日(土)・5日(日) 午前10時～午後3時

こどもとおとなのびじゅつ☆体験隊「つなげて・組み立てて あそぼう」

内容 紙製のチップ等による工作

6月22日(土)・23日(日) 午前10時～11時

歩いて発見！びじゅつかん「め・い・ろ な 美術館 館内編」

内容 館のバックヤードを巡ることで美術館の構造を学び、会場作りの体験をする。

7月28日(日) 午前10時～11時

歩いて発見！びじゅつかん「め・い・ろ な 美術館 館外編」

内容 美術館の周囲を巡り、新たな美術館の魅力を発見する。

8月 3・10・17日(土)・4・11・18日(日) 午前10時～午後3時

こどもとおとなのびじゅつ☆体験隊「空にうかぶものたち—シャガールのよう」

内容 青空に見立てた巨大な画面に思い思いにコラージュする。

9月22日(日) 午前10時～11時

歩いて発見！びじゅつかん「美術館の自然」

内容 美術館の周囲の自然から、提示した色を探す。

10月13日(日) 午前10時～12時

こどもとおとなのびじゅつ☆体験隊「住んでみたいね！こんな家」

内容 段ボール等を使って実際に自分が入ることのできる家を制作。

10月27日(日) 午前10時～11時

歩いて発見！びじゅつかん「チケットのいらないビジュツたち」

内容 館内のフリースペースを活かして新たな発見をする。

### <ミュージアムコンサート>

8月24日(土) 午後2時～2時30分

プチ・コンサート

マルク・シャガール展で聴く平澤仁とミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」

会場 エントランスホール

ヴァイオリン 平澤仁(東京フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター)

唄 長岡市民合唱団有志

3月16日(日) 午前11時～12時／午後1時～2時

春の風をよぶ… サクソフォーンの音色に

会場 エントランスホール

演奏 魚沼サクソフォン・クアルテット

高橋直裕 藤ノ木友子 佐藤麻衣子 小野川直文

曲目 アメージング・グレイス、リトル ニグロ、他

9月16日(月) 午後1時～／午後2時～

ポジティブオルガン巡回コンサート

主催 新潟市民芸術文化会館

会場 エントランスホール

演奏 和田純子(新潟市民芸術文化会館専属オルガニスト)

### <映画鑑賞会>

第1回 10月12日(土)

アート・ドキュメンタリー『ビョーク』※ビデオ上映

第2回 11月 2日(土)

溝口建二監督作品『山椒太夫』

第3回 12月14日(土)

寺山修司の実験映画『トマトケチャップ皇帝』(オリジナル完全版)

第4回 1月11日(土)

名作！！ F. フェリーニ監督『道』

第5回 2月 8日(土)

巨匠の名画 伊藤大輔監督『御誂次郎吉格子』

### <美術鑑賞講座>

第1回 6月29日(土)午後2時～  
「月の絵本～天へのあこがれ」  
講師 宮下 東子(当館主任学芸員)

第2回 7月6日(土)午後2時～  
「風景画の魅力」  
講師 麻績 勝広(当館主任学芸員)

第3回 7月13日(土)午後2時～  
「"抒情画"の系譜～夢二・虹児・淳一」  
講師 小西 珠緒(当館美術学芸員)

第4回 10月26日(土)午後2時～  
「"書ハ美術ナラス"の時代」  
講師 松矢 国憲(当館主任学芸員)

第5回 11月9日(土)午後2時～  
「"明治美術会"と"白馬会"」  
講師 小見 秀男(当館学芸課長)

第6回 11月30日(土)午後2時～  
「油彩画の表現～素材と技法から辿る」  
講師 中嶋 均(当館学芸課長代理)

第7回 12月7日(土)午後2時～  
「パリの情景～印象派の見た芸術の都」  
講師 平石 昌子(当館主任学芸員)

第8回 2003年1月18日(土)午後2時～  
「ドイツ表現主義を演出した者」  
講師 桐原 浩(当館主任学芸員)

第9回 2003年1月25日(土)午後2時～  
「戦争と美術～十五年戦争の時代」  
講師 澤田 佳三(当館美術学芸員)

第10回 2003年2月1日(土)午後2時～

「亀倉雄策と写真」

講師 宮崎 俊英(当館学芸課長代理)

＜館長による美術史連続講座＞講師 水野 敬三郎(当館館長)

第1回 9月21日(土)午後2時～

「仏教彫刻の名品Ⅰ－法隆寺金堂釈迦三尊像」

第2回 10月19日(土)午後2時～

「仏教彫刻の名品Ⅱ－法隆寺夢殿救世観音像」

第3回 11月16日(土)午後2時～

「仏教彫刻の名品Ⅲ－中宮寺菩薩半跏思惟像」

＜音楽鑑賞講座＞

2003年3月22日(土)午後1時30分～

わたしの好きなレコード・CD

「モーツァルト 歌劇『フィガロの結婚』抜粋」

講師 前川 誠郎(当館名誉館長)

＜刊行物＞

平成14年度展覧会案内リーフレット

仕様:A4版三つ折り 4色×2色

発行部数:40,000部

各展覧会図録

◇長岡現代美術館賞回顧展 図録

仕様:257×185mm 本文176頁

発行部数:1,200部

価格:1,500円

◇小山正太郎と「書ハ美術ナラス」の時代 図録

仕様:273×222mm 本文196頁

発行部数:1,300部

価格:2,000円

## 巡回ミュージアム 鑑賞の手引き

—美術を楽しむ秋—

仕様: B6 版 16 頁

発行部数: 4,100 部

## collection guide

◇Vol.7 「佐藤哲三一人と作品」

仕様: A5 版 20 頁+絵はがき 4 枚

発行部数: 3,000 部

価格: 200 円

## 新潟県立近代美術館便り「雪椿通信」

◇第 18 号

仕様: A4 版 6 頁

発行部数: 4,000 部

発行日: 平成 14 年 4 月 1 日

◇第 19 号

仕様: A4 版 6 頁

発行部数: 4,000 部

発行日: 平成 14 年 9 月 1 日

## 企画展鑑賞資料

◇福島県立美術館コレクション展 作品リスト

発行部数: 10,000 部

仕様: A3 版 4 頁

## 年報

◇新潟県立近代美術館 年報 平成 13 年度

発行部数: 500 部

仕様: A4 版 本文 82 頁

## <作品解説会等>

### 長岡現代美術館賞回顧展

4月26日(金) 友の会作品解説会(桐原浩)

5月11日(土) ギャラリー・トーク(桐原浩)

5月18日(土) ギャラリー・トーク(宮崎俊英)

5月25日(土) ギャラリー・トーク(桐原浩)

### 小山正太郎と「書ハ美術ナラス」の時代

10月 5日(土) 解説会(松矢国憲)

10月 6日(日) 解説会(松矢国憲)

10月12日(土) 解説会(松矢国憲)

10月20日(日) 解説会(澤田佳三)

10月27日(日) 解説会(松矢国憲)

11月 2日(土) 解説会(小見秀男)

11月 3日(日) 解説会・友の会作品解説会(松矢国憲)

11月10日(日) 解説会(澤田佳三)

11月17日(日) 解説会(松矢国憲)

### 福島県立美術館コレクション展

2月15日(土) 解説会(澤田佳三)

2月22日(土) 解説会(澤田佳三)

2月26日(水) 友の会解説会(澤田佳三)

3月 8日(土) 解説会(平石昌子)

3月15日(土) 解説会(松矢国憲)

3月22日(土) 解説会(澤田佳三)

### <ハイビジョンシステム>

当館では、所蔵品展示の他に所蔵作品を通して美術についての理解を深めるため、ハイビジョンシステムを導入し、無料で利用できるサービスを行っている。このシステムは、ハイビジョンとして記録された映像番組を端末装置により自由に選択し、110インチ大型ハイビジョン画面と60インチハイビジョン画面のそれぞれで映写し鑑賞することができるものである。

データベースシステムは、高品位映像と文字情報による収蔵作品の検索システムであり、作品画像と検索データは18インチ液晶モニターで見ることができる。平成14年6月に全面的にリニューアルし、1台から2台に増設した。

### 【ハイビジョンギャラリー】

## ギャラリー I

110インチの大型画面 40席

## ギャラリー II

60インチの中型画面 4席(車椅子スペースあり)

## 【データブース】

文字情報は印刷可能

検索は作家名による検索、作品名による検索

全1766作品

※平成14年度新規入力データ37作品

## 【ハイビジョンギャラリー上映番組】

### ●新潟県立近代美術館オリジナル番組 10タイトル

(ギャラリー I、II)

- |    |                    |               |
|----|--------------------|---------------|
| 1  | カリアティードとアトラント      | オーギュスト・ロダン    |
| 2  | 新しい絵画への予言          | ポール・エリー・ランソン  |
| 3  | 創造と抵抗のはざままで        | ケーテ・コルヴィッツ    |
| 4  | 日本洋画の開拓者たち         | 大光コレクション戦前編   |
| 5  | 近代日本洋画の黎明          | 小山正太郎とフォンタネージ |
| 6  | 北蒲原に生きた画家          | 佐藤哲三          |
| 7  | 館所蔵作品に見る近代日本画の画家たち |               |
| 8  | 内なる心の美             | 土田麦僊          |
| 9  | 情熱と行動の画家           | 横山操           |
| 10 | 蠟型鑄造の世界            | 新潟の金工         |

### ●フィレンツェ・ルネサンス

### ●エルミタージュ美術館 I

### ●エルミタージュ美術館 II

### ●ハイビジョン LD エルミタージュ美術館

その他上映可能なメディア(ギャラリー I、II)

ハイビジョン VTR、ハイビジョン LD、ハイビジョン衛星放送

案内画面(ギャラリー I、II)

展覧会の案内やイベント等を情報表示画面により利用者に告知

## 収集・保存

### 平成 14 年度収集作品

◆文中の\*印の作品については、新美術館開設準備室が収集業務を担当した。

#### 「世界の美術」

\*版画 アンディ・ウォーホル 花 1970 シルクスクリーン(10点) 各 91.5×91.5 購入

\*版画 キース・ヘリング 花 1990 シルクスクリーン(5点組) 各 99.4×12 購入

#### 「日本の美術」

日本画 小山正太郎 障子貼り図 1908(明治 41) 絹本墨画淡彩、軸装 144.0×42.5 寄贈

日本画 小山正太郎 一樹花十字詩 1908(明治 41) 絹本墨書画、軸装 144.0×42.5

日本画 土田麦僊 山茶花 1933(昭和 8) 絹本彩色、軸装 68.8×102.8 購入

\*日本画 大矢 紀 風渡る 1999(平成 11) 紙本彩色、額装 181.5×259.0 購入

\*日本画 竹内浩一 降 2000(平成 12) 紙本彩色、額装 230.0×180.0 購入

日本画 竹内浩一 ぶどうに雨 2001(平成 13) 紙本彩色、額装 183.5×226.2 寄贈

\*日本画 箱崎睦昌 瀬 1999(平成 11) 紙本彩色、パネル 182.0×380.0 購入

\*日本画 畠中光享 スジャータ奉粥 1988(平成 10) 綿本彩色、二曲一双屏風 165.0×340.0 購入

日本画 畠中光享 散華Ⅳ 1996(平成 8) 紙本彩色、額装(2点組) 各 163.0×120.3 寄贈

\*日本画 八田哲 タスコ白日 1991(平成 3) 紙本彩色、額装 198.0×505.0 購入

日本画 八田哲 夏のカシュガル 1988(昭和 63) 紙本彩色、額装 185.0×330.0 寄贈

日本画 八田哲 夜のカテドラル 1989(平成元) 紙本彩色、額装 207.0×230.0 寄贈

\*日本画 村田茂樹 道二題 1991(平成 3) 紙本彩色、額装(2点組) 各 227.3×162.1 購入

日本画 村田茂樹 同里の町よりⅡ 1984(昭和 59) 紙本彩色、額装 130.3×162.2 寄贈

日本画 村田茂樹 北京・東山より 1985(昭和 60) 紙本彩色、額装 130.3×193.9 寄贈

日本画 村田茂樹 雲南丘の村 1986(昭和 61) 紙本彩色、額装 170.0×230.0

\*日本画 渡辺信喜 秋晴るる 1992(平成 4) 紙本彩色、四曲一双屏風 170.0×606.0 購入

日本画 渡辺信喜 牡丹図 1989(平成元) 紙本彩色、四曲一双屏風 168.0×370.0 寄贈

\*日本画 堀泰明 雲南讃歌 1988(昭和 63) 紙本彩色、額装 180.0×224.0 購入

洋画 牧野虎雄 麦扱く農婦等 1918(大正 7) 油彩、カンヴァス、額装 80.0×146.0 購入

洋画 牧野虎雄 秋近き濱 1934(昭和 9) 油彩、カンヴァス、額装 97.0×163.0

\*洋画 田中稔之 円の光景'82-14 1982(昭和 57) 油彩、カンヴァス、額装 79.0×115.5 寄贈

- \*洋画 小林正人 画く力 1994(平成 6) 油彩、カンヴァス 220.0×293.0 購入
- \*洋画 野見山暁治 いけにえ 1995(平成 7) 油彩、カンヴァス 182.0×227.0 購入
- \*洋画 木下晋 101年の胎動 2001(平成 13) 鉛筆、紙 190.0×100.0 購入
  
- \*彫刻 宮崎進 ナナエツの少女 1996 石膏、油絵具 80.0×32.0×4 1.0/台  
100.0×40.0×40.5 寄贈
- \*彫刻 藪内佐斗司 走る童子 1996(平成 8) ブロンズ(4 体 1 組)各 79.0×46.0×56.0 購入  
彫刻 藪内佐斗司 1996(平成 8) ブロンズ(2 体 1 組) 前半分 79.0×46.0×25.0/後半分  
79.0×46.0×34.0 寄贈
  
- \*平面 宮崎進 黄色い大地 2000(平成 12) 麻布、木工ボンド、木炭、油絵具、合板  
261.0×393.0 購入
  
- \*立体 竹田康宏 Under the leaves 1994(平成 6) FRP、アクリルシリコン塗料  
228.0×137.0×208.0 寄贈  
立体 竹田康宏 Under the leaves 98AU "Let's stay right here" 1998(平成 10) FRP、アクリル  
ウレタン塗料 323.0×124.0×110.0  
立体 篠原有司男 コカコーラ・プラン 2002(平成 14)混合素材 66.5×67.0×7.0 寄贈
  
- \*工芸 八木一夫 環境の表裏 1967(昭和 42) 黒陶 30.0×24.0×20.0 購入
- \*工芸 岩田藤七 花器 1960(昭和 35) ガラス 20.5×30.5×24.5 寄贈  
工芸 岩田藤七 花器 1976(昭和 51) ガラス 25.0×25.0×37.0  
工芸 岩田藤七 皿 1976(昭和 51) ガラス 28.0×39.5×7.0
- \*工芸 岩田久利 花器 1978(昭和 53) ガラス 17.0×17.0×31.0 寄贈  
工芸 岩田久利 花器 1985(昭和 60) ガラス 19.5×17.5×21.0  
工芸 岩田久利 花器 1985(昭和 60) ガラス 23.0×22.5×50.0  
工芸 岩田久利 盛器 1986(昭和 61) ガラス 28.0×28.0×15.5  
工芸 岩田久利 花器 1989(平成元) ガラス 14.0×14.0×43.5  
工芸 岩田久利 花器 1991(平成 3) ガラス 29.0×29.0×43.5  
工芸 岩田久利 花器 ガラス 26.0×26.0×63.0
  
- \*デザイン 佐藤可士和 CD「Smap」告知ポスター発売、駅貼り用ステッカー付き 2000-01(平成  
12-13) 紙(パネル貼り)102.8×291.0 寄贈  
デザイン 佐藤可士和 CD「Smap」新聞紙面広告※三原色 2000-01(平成 12-13) 紙(パネル貼  
り)53.8×40.8  
デザイン 佐藤可士和 CD「Smap」新聞紙面広告※ロゴタイプ見本 2000-01(平成 12-13) 紙  
(パネル貼り)53.8×40.81

\*デザイン 原研哉『紙とデザイン』2000(平成 12) 紙(書籍)19.0×25.1×3、1.0(箱)／  
18.7×24.5×26.0 寄贈

---

## 「新潟の美術」

日本画 竹内蘆風 武陵桃源之図 1928(昭和 3) 紙本彩色、六曲一双屏風 各 175.0×352.0  
購入

\*日本画 金井二郎 海の詩 2002(平成 14) パネル、和紙、水干絵具、岩絵具、ソーラー電気、鏡  
等 193.9×162.1 寄贈

\*洋画 水島清 海郷 1953(昭和 28)油彩、カンヴァス 130.0×97.0 寄贈

\*洋画 岩下尊弘 地吹雪 1997(平成 9) 油彩、カンヴァス(3点組) 各 128.5×192.2 購入

洋画 岩下尊弘 束の間の静寂 1997(平成 9) 油彩、カンヴァス 110.7×160.0 寄贈

洋画 岩下尊弘 浄水場 2001(平成 13) 油彩、カンヴァス 78.5×115.3

\*洋画 本田真吾 実相#116 1997(平成 9)カンヴァス、アクリル、ミクストメディア 162.5×200.0  
寄贈

\*洋画 川崎ヒロ子 MORE 01-02 1999(平成 11) カンヴァス、アクリル 181.0×227.0 購入

洋画 川崎ヒロ子 MORE-99-N-II 1999(平成 11) カンヴァス、アクリル、胡粉、墨  
131.0×162.0 寄贈

\*洋画 市橋太郎 M792 1979(昭和 54) 木綿カンヴァス、色鉛筆、紐、石膏球 120.5×120.5 購  
入

\*洋画 市橋太郎 North and Gravity No16 1974(昭和 49) カンヴァス、アクリル、エナメル、石膏、  
写真、アルミ粉 229.0×29.0×4.0

\*工芸 高井進 青磁吹染鉢 2001(平成 13) 磁器 径 46.0×高さ 17.5 寄贈

工芸 高井進 青瓷線文壺 2002(平成 14)磁器 径 33.0×高さ 30.5

\*工芸 広川青五 '01「スペース・XⅢ」 2001(平成 13) 綿ブッチャー地、捺染、のり筒による線描  
162.0×112.0 寄贈

\*工芸 堀政晴 鑄分花器「彩」 1997(平成 9) 鑄銅 16.0×18.5×38.0 寄贈

\*写真 市橋太郎

セルフポートレイト 1973年10月22日午後3時08分 1973(昭和 48) カラープリント 40.5×50.5  
寄贈

写真 市橋太郎 1973年10月22日3時15分 1973(昭和 48) カラープリント 40.5×50.5

素描 末松正樹 作品(1944年10月16日)1944(昭和19) 紙、鉛筆 画寸 19.8×26.3 購入  
 素描 末松正樹 作品(1944年11月27日)1944(昭和19) 紙、鉛筆 画寸 19.5×22.5  
 素描 末松正樹 作品(1944年12月17日)1944(昭和19) 紙、鉛筆 画寸 19.4×25.3  
 素描 末松正樹 作品(1945年1月17日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 19.3×22.0  
 素描 末松正樹 作品(1945年2月18日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 20.0×24.7  
 素描 末松正樹 作品(1945年3月15日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆、色鉛筆 画寸 19.7×23.5  
 素描 末松正樹 作品(1945年4月2日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆、色鉛筆 画寸 20.0×24.3  
 素描 末松正樹 作品(1945年5月23日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 20.0×22.0  
 素描 末松正樹 作品(1945年6月13日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 18.5×22.7  
 素描 末松正樹 作品(1945年12月24日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 17.8×22.6  
 素描 末松正樹 作品(1946年1月10日) 1946(昭和21) 紙、鉛筆 画寸 19.1×25.0  
 素描 末松正樹 自画像(1944年9月17日) 1944(昭和19) 紙、鉛筆 画寸 31.8×24.6 寄贈  
 素描 末松正樹 作品(1944年10月18日) 1944(昭和19) 紙、鉛筆 画寸 18.0×25.0  
 素描 末松正樹 作品(1945年1月15日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 19.7×23.5  
 素描 末松正樹 作品(1945年1月30日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 20.0×24.0  
 素描 末松正樹 作品(1945年2月26日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 20.2×24.2  
 素描 末松正樹 作品(1945年3月4日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 20.4×23.7  
 素描 末松正樹 作品(1945年6月29日) 1945(昭和20) 紙、鉛 画寸 18.3×21.7  
 素描 末松正樹 作品(1945年7月24日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 19.7×24.6  
 素描 末松正樹 作品(1945年9月22日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 17.8×25.2  
 素描 末松正樹 作品(1945年10月15日) 1945(昭和20) 紙、鉛筆 画寸 27.5×20.6

◆文中の\*印の作品については、新美術館開設準備室が収集業務を担当した。

#### 収集担当別作品点数

	新潟県立近代美術館	合計点数	新美術館開設準備室	合計点数	両館合計
分野	各領域点数		各領域点数		
世界の美術		0	版画 15	15	15
日本の美術	日本画 3(寄贈 2)	6(寄贈 3)	日本画 18(寄贈 9)	48(寄贈 30)	54(寄贈 33)
	油彩画 2		洋画 4(寄贈 1)		
			平面 1		

	立体 1(寄贈 1)		彫刻 7(寄贈 3)		
			立体 2(寄贈 2)		
			工芸 11(寄贈 10)		
			デザイン 5(寄贈 5)		
新潟の美術	日本画 1	22(寄贈 10)	日本画 1(寄贈 1)	18(寄贈 12)	40(寄贈 22)
	素描 21(寄贈 10)		洋画 9(寄贈 5)		
			平面 2		
			写真 2(寄贈 2)		
			工芸 4(寄贈 4)		
総合計		28(寄贈 13)		81(寄贈 42)	109(寄贈 55)

## 調査・研究

### 研 修

#### 第11回美術館・歴史博物館学芸員専門研修会(第1年次)

「公私立の美術館・歴史博物館の学芸員や学芸業務を担当する専門職員等を対象に、学芸業務に関する専門的知識・技能の向上を図る研修を行い、もって美術館・歴史博物館の活動の充実に資する」以上の趣旨により開催された研修に、当館から学芸員1名が参加した。

内 容:基礎科目

- I. 文化行政(①文化財保護について②文化財保護と国際条約)
- II. 美術館・博物館の現状と展望(②海外の博物館の現状(フランス)③日本の美術館の現状と課題⑤博物館の望ましい姿)
- III. 美術館・博物館の事業活動(①美術館・博物館の評価②美術館・博物館とボランティア③美術館・博物館とIT の活用)特別講義①歴史学と美術館・博物館

専門科目

- IV. 調査・研究(①文化財調査の科学的方法)
- V. 保存・修復(①美術館・博物館の保存環境)

VI. 展覧会の実施(①展覧会の照明デザインとディスプレイ②観覧者の視点で見た展覧会)

VII. 実地研修等(①研究討議 I (分科会)①研究討議まとめと全体会 I)

会 期:平成15年1月27日(月)～1月31日(金)

主 催:文化庁、独立行政法人国立美術館国立西洋美術館

会 場:国立西洋美術館

参加者:松矢国憲(当館主任学芸員)